



# 愛知陸協広報

第8号

19年12月30日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url http://goldjaic.org/jaic/member/aichi/

## 心一つに夕スキをつなぐ!

第2回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 平成19年12月1日 愛・地球博記念公園(長久手町)



市の部優勝 岡崎市



町村の部優勝 三好町



神田知事の号砲で一斉にスタート

### 市の部

順位	タイム	チーム名	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区
1	1.29.12	岡崎市	鈴木 萌未	市川宗一朗	田中 美希	渥美祐次郎	西山 令	豊川 稔	足立依實子	大城 響子	鷺見 知彦
2	1.30.06	豊田市	三浦 志保	松本 勇樹	宮部 夏実	松井 将器	兵藤 佑樹	永田 勝宣	岩狭めぐみ	中條 宏美	佐々木晃弥
3	1.30.38	田原市	小林 愛美	吉田 洵	山田 綾佳	近並 郷	河合 祐哉	夏目 勝也	河合さおり	林 有希子	藤田 幸則
区間賞			下村 環加 (豊明)	小嶋 裕貴 (豊明)	林 千絵子 (碧南) 荒木 麻邑 (刈谷) 原 綾香 (江南)	近並 郷 (田原)	手嶋 伸午 (蒲郡)	夏目 勝也 (田原)	足立依實子 (岡崎)	安井絵理奈 (弥富)	鷺見 知彦 (岡崎)

4位 豊橋市 5位 名古屋市 6位 豊川市 7位 江南市・刈谷市 9位 尾張旭市 10位 豊明市  
敢闘賞 ①知多市 ②新城市 ③東海市

### 町村の部

順位	タイム	チーム名	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区
1	1.35.07	三好町	山田和佳奈	山本 和樹	山田日菜野	土井 政英	足立 匠	渡辺 幸司	東 二三子	中根 礼音	榎原 聡
2	1.36.13	小坂井町	鈴木 千陽	小島 拓也	加藤 愛音	江頭 康知	星野 友誉	白井 賢吾	加藤 舞	鈴木 瑛子	船井 英彰
3	1.37.43	吉良町	星野 陽香	武田 翔一	加藤 日和	梅田 駿	雪吹 俊哉	杉山 和徳	中島よし子	尾崎 理穂	糟谷 悟
区間賞			西川かりん (武豊)	三田 裕介 (幡豆)	稲吉 見咲 (幸田)	土井 政英 (三好)	今西 勇介 (東浦)	渡辺 幸司 (三好)	加藤 舞 (小坂井)	奥田和佳奈 (武豊)	糟谷 悟 (吉良)

4位 武豊町 5位 東浦町 6位 蟹江町 7位 扶桑町 8位 大口町 9位 幡豆町 10位 大治町  
敢闘賞 ①吉良町 ②蟹江町 ③大口町・春日町



## 今思うこと

理事長 國分 一郎

1. 中学生の登録者数は、昨年度 4,440 名でしたが、本年度は 11 月現在で 5,117 名になっています。年度末までには、6,000 名にならないかなと願っています。
2. 駅伝カーニバルを 12 月の初旬に開催しています。高校の部と一般男子の部は、2 月初旬に開催する名岐駅伝の予選会を兼ねていますが、その他中学生男子の部・中学生女子の部、一般・高校女子の部は予選会を兼ねていません。そこで、数年前から男・女中学生の部は、各校 3 チームまで参加できるようにしました。その結果、岡崎市内の中学校を中心に多数参加するようになり、一段と盛り上がるようになりました。次回から、『一般・高校女子の部も 3 チームまでの参加を』と考えています。そうすれば駅伝カーニバルも一段と盛り上がるものと考えています。
3. 伊勢市の三重県営陸上競技場で 6 月 22 日から 24 日にかけて日本選手権混成競技会が開催されました。私は上訴審判員を委嘱され、参加しました。天候の良くない日がありましたが、審判員の皆様は全員そろった素晴らしい雨具を着ておられました。三重陸協の名古理事長に尋ねますと、「三重陸協では、審判登録料は高い代わりに、規則書も審判用ポロシャツも雨具も全員に支給している」とのことでした。愛知陸協では年度初めに規則書の販売をしていますが、販売数は年間 100 冊位です。登録している審判員は 970 名位ですから、その年度の規則書を持っている人は 1 割程度ということになります。審判伝達講習会を 3 月末に県下で 5 回開いていますので、心配ないとは思いますが、全員が規則書を持つようにしていきたいと思っています。
4. 以前の愛知陸協の役員の中には、高橋公一前会長や中西徳寿前検定員・元施設用器具委員長のような民間企業の出身者や翠忠明元東海陸協理事長・元総務委員長のような行政出身者がおられ、多角的な視点・観点から協会運営を考えて来られました。しかし、現在はほとんど教員出身者で、視点・観点が狭くなったり浅くなったりするのではないかと心配をしています。今年度から委員長を引き受けていただいた方に、教員をやっていて行政を経験をした人がいます。この人のように、再び陸上競技界に戻って来て、協会運営に携わってほしいと思っています。
5. 愛知陸協には、顧問や参与等の役職があります。『役員招待規定』のようなものを作り、主要な競技会には案内状を出し、プログラム・交通費・昼食等を準備して競技会を楽しんでいただいたり、ご意見をいただいたりしたいものだと思っています。

## 支部報告〈わが支部自慢〉

### 名古屋支部 自慢の人

跳躍審判員 (A 級) やすにお 安庭 ふみお 史應氏  
S.6.5.5 生 (76 歳)



愛知県 (愛知陸協) での審判員実績は短いですが、現役時代 (跳躍) の経験を生かし、若い選手を審判を通して育てる気迫と奉仕精神に支えられ、黙々とした審判態度は、見習う点が多い。

本人は余り語らないが、若い選手時代の苦労話も是非聞きたいものです。現在、マスターズ陸上で活躍中。これからもグラウンドでお目にかかれることを期待しています。

平成 19 年度のトラックシーズンは 10/21、22 の支部選手権をもってほぼ終了しました。年間 40 回もの審判協力で感謝します。今後も駅伝・マラソン・ロードレースと大会が続くので協力をお願いします。

若い選手が確実に育っています。万博記念「愛知駅伝」に出場の名古屋支部、各市町村の選手の活躍には目を見張るものがありました。冬季練習での、一層の鍛練と動きづくりに期待します。

#### 1 支部選手権 優勝者 (中学生も活躍)

	男子	女子		男子	女子
100m	石黒 遼人	渡邊有紀子	走高跳	杉江 浩一	竹内 梨里
200m	石黒 遼人	門奈 美和	棒高跳	谷口 直士	
400m	服部 慶	柘植 早織	走幅跳	加藤 裕介	岩川 歩美
800m	鈴木 俊介	柘植 早織	三段跳	宮崎 隆介	小川 詩織
1500m	岩田 翔也	林 亜沙美	砲丸投	小山祐一郎	久間みのり
5000m	今枝 浩二	林 亜沙美	円盤投	樋口 健太	加藤 千枝
10000m	宮本 斉浩		槍投	花井 章宏	加藤 千枝
110mH	柏原 裕士	安藤由加里	4×100mR	愛知学院大	至学館高校
400mH	平田 和之	市村 真帆	4×400mR	名古屋高校	至学館高校
3000mSC	石塚 誠				

#### 2 今後の予定

- ①愛知陸協支部陸上教室  
瑞穂会場 (12/16、1/12、1/26)  
知多会場 (12/15、1/12、2/9)
- ②名古屋支部普及競技会 (知多、愛日)  
小学生大会 (1/27、3/1)  
中学生大会 (1/26、3/15)
- ③審判伝達講習会 (3/21、22)

3 前号 (第 7 号) で依頼したパソコン・コンピュータ導入に伴う協力者に、小川尚生氏から申出がありました。ご協力に感謝すると共に、今後の活躍をお祈りします。

(坂井田 醇三)

### 尾張支部

#### —小学生クラブの台頭と歴史—

愛知陸協尾張支部の小学生レベルの陸上大会は、これまで戦後教育の一役を担い、小中学校体育連盟や地域の教育委員会等の下で練習会や市小学校陸上大会、郡単位あるいは複数の小学校単位の交流大会として行なわれてきた経緯がある。

それは、陸上部として日常的な活動の成果をはかる場として設けられたり、スポーツ大会の一環としての陸上競技大会として位置づけられたりして、選手も「足の速い子」「投てき力」や「跳躍力」に優れた子が学校代表として競技会に参加するといった形が伝統的なものであった。

しかしこういう伝統的なスタイルから、クラブやスポーツ少年団の一員として、陸上好きな子たちが所属し競技会に参加するといったスタイルがここ数十年続いている。

尾張支部でその動きの始まりを創出したのは、かつて小学校で教鞭を執られていた北野修先生ではないかと思われる。現職の頃、先生は「十四山体育クラブ」を小学校単位で創設され、その後も精力的に陸上の楽しさや競技力の向上、また仲間作りなどに尽力された。クラブ組織の中で育った子供たちがさらに中学、高校で活躍するという構図を作り、発展させ、今日の地歩を固められた。

この「十四山体育クラブ」に続き、一宮に「JAC 一宮」

が誕生。現在も指導や世話役に奔走されている西村嘉二先生のご活躍はご存じの通りである。ここ数年は全国小学生大会まで駒を進める子供たちも出てきている。さらに中学、高校に進学してからも陸上を愛し、競技力を全国レベルにまで引き上げるという結果を残した。

また江南市には「布袋陸上クラブ」が数年前に誕生した。このクラブの設立に奔走した安藤淳一さんと協賛者の方たちは地元の中学、高校で選手として活躍した方たちである。現在は小学生を中心に活動の輪を広げつつある。

一方、これらのクラブ組織の活動を支えているのは保護者の皆さんである。一過性の活動に終わらず、支援の輪が子供たちの陸上に対する士気の向上につながってほしいことである。

さて、尾張支部としてもこの支援の輪を取り込み、裾野の広がりを期待し、さらに競技力の向上を目指してがんばらなければならないと感じている。小中学生陸上クラブ関係の皆様方の陸上競技に対する熱き思いに感謝申し上げるとともに、さらなるご協力・ご支援を賜りたい。

当支部では各種陸上教室、記録会に積極的にご参加いただけるよう日々努力して参ります。ご意見、ご要望等があればお聞かせください。

(連絡先) 尾張支部理事長 原川 豪 (090-2137-0224)

(原川 豪)

## 西三河支部

今年度は、12/1 に実施された第2回万博記念市町村駅伝だが、昨年度の夏前の時点では唐突でもあり、現場では予算面・選手の選考などに苦慮し苦情も多くあった。しかし、市の部では豊田(1位)・刈谷(4位)・岡崎(7位)・碧南(8位)・安城(9位)、町村の部でも三好(4位)・幸田(6位)・一色(7位)と西三河支部の各市町村は心配をよそに大健闘であった。

にわか作りでも立派な結果を残すことができた裏には、戦後の混乱の中、全国のトップを切って昭和21年に朝日新聞社後援で岡崎・豊橋間での岡豊駅伝がスタート。その後国道1号線の使用が禁止となり、現在の岡崎市民駅伝・渥美半島駅伝に分かれた。岡崎市民駅伝は60年からの歴史があるし、安城市においても前支部長の鶴田先生にお聞きすると、第1回愛知選手権(昭和21年刈谷中学で実施)、旧安城競技場(昭和24年完成)、昭和20年台中盤からすでに中学生主体の駅伝・青年団主体による駅伝・長距離競走などを実施していたとのこと。その他一色マラソンなども含め、三河地区内では数多くの駅伝・マラソン大会の歴史などの蓄積があった結果だと思ふ。

それらから、伝統的にこの地区は市民マラソン・駅伝に対しては強い関心があるので、それがこの大会を機に再燃したと思われる。

本年度は年度当初から計画的に選考会を取り入れ、9月より実施した地区もあると聞いている。結果は市の部で岡崎、町村の部で三好が優勝するという好成績であった。

このところ、やや陸上熱が下火になってきた時期でもあるので、これを契機に陸上競技に興味をもってくれる層が更に拡大することを期待したい。(柴田 和秀)

## 東三河支部

「25年振り！驚異のスプリンター現る」

豊橋市に全国の中学校男子短距離界を「あっ！」と言わ

せる驚異のスプリンターが現れた。昭和50年代に活躍した田中伸一君(青陵中ー中京高一早稲田)以来約25年振りに現れた13歳の少年である。

名前は、鈴木祐太君(本郷中1年)。10月26日(金)～28(日)に横浜市の日産スタジアムで開催された第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会の中学1年男子(C男子一出場者は標準記録突破者54名)100m決勝において、11秒20の驚くべきタイムで制した。

このタイムは大会記録(11秒32)を更新したばかりでなく、今年度の中学1年生最高記録、更に中学1年生歴代2位(1位は11秒16)の記録になる。

決勝レースは風速0.4mの微風の中で行なわれ、中学歴代1位の記録が公認記録ぎりぎりの追い風2.0mをもらってのレース記録であることを考えれば、鈴木君のタイムは事実上中学1年生歴代最高記録に相当する好記録と思われる。

鈴木君は陸上競技部に所属し、太田喜和先生の指導を受ける傍ら、校外では地元のサッカークラブで活躍している。来年度の活躍が期待される。(夏目 輝久)



表彰を受ける鈴木祐太君(中央)

## 専門委員会報告

### 総務委員会

12月2日(日)第4回駅伝強化競技会(瑞穂)をもって、19年度愛知協陸主催のトラック&フィールドがすべて終了した。特に大きなトラブルもなく終えることができ、審判及び事前準備に携わった皆さんに、心より感謝申し上げます。今後は、ロードレース・駅伝中心の大会が本格化する。すでに11月4日(日)の全日本大学駅伝を皮切りに、名古屋ハーフマラソン、市町村対抗駅伝等が無事終了している。特に市町村対抗駅伝では会場が工事のため、新たにコース設定が必要となり、準備に大変手間がかかった。

今後の主な大会は、2月に名岐駅伝・犬山ハーフマラソン、3月に国際室内棒高跳・名古屋国際女子マラソン・中日豊橋マラソン等である。特に名古屋国際女子マラソンに高橋尚子選手が出場の意向を示しており、その走りに注目が集まりそうだ。

ロード関係の大会は、トラック&フィールドに比べ事前準備に多くの時間が費やされる。今後行われる大会は、今まで以上に諸会議が多くなることが予想される。

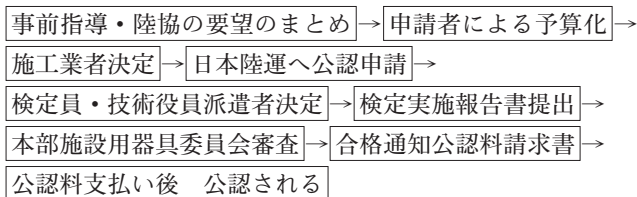
昨年度の愛知協陸総登録数は、12,939名であったが、今年はずでに前年度を上回り、11月15日現在で、13,416名に達している。特に中学生の登録数の増加が目立つ。

(稲垣 裕)

### 施設・用器具委員会

公認陸上競技会開催の6条件の一つとして、公認陸上競技場(長距離競走路ならび競歩路を含む)と検定用器具があります。ルールブックP73～120の「競技用器具検定規定」「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」「公認陸上競技場および長距離競走路ならび競歩路規定」及び細則にしたがって検定が行なわれ、条件に合格したものが公認陸上競技場になります。

## 【公認競技場・長距離競争路等の誕生までの流れ】



<例>第1種瑞穂公園陸上競技場

2007. 2 事前指導 (青木検定員) と愛知陸協の要望  
 2007.11 瑞穂→スポーツ振興課→財政課に予算要求  
 2008. 6 予算決定  
 2008.11 施工業者決定  
 2008.12 検定員・技術役員派遣者決定  
 2009. 3 検定実施報告書提出  
 2009. 3 本部施設用器具委員会審査  
 2009. 3 合格通知公認料請求書  
 2009. 4 公認料支払い後公認証書が送られる

## 【2007年度の検定】

- 蒲郡陸上競技場 (8.15~16)  
 ○岐阜経済大学陸上競技場 (11.25)  
 瑞穂北陸上競技場 (2008.3 予定)  
 中京女子大会陸上競技場 (2008.3 予定)  
 梅村学園室内棒高跳 (2008.3 予定)  
 名古屋ハーフマラソンコース (2008.3 予定)



岐阜経済大学陸上競技場

## 【2008年度の検定】

- 中京大学梅村 (陸) 付帯ハンマー投てき場 (~2008.9.30)  
 豊橋市営 (付設) マラソンコース (~2009.3.19)  
 瑞穂公園陸上競技場 (~2009.6.30)  
 県営一宮総合運動場 (2008.7.1~2009.6.30) 公認延期願  
 全面改修工事 (公認の陸上競技会開催はできない)  
 \*先日 11月25日に、大垣市にある岐阜経済大学陸上競技場の新設第4種検定に行きました。(写真参照)

トラックは直線6レーン曲走路4レーンの陸上競技場で、安全面を最大に考慮されて、ハンマー投の囲いのパネルの高さは9m、7mで何と第1種なみであったことには、大変驚きでした。ハンマー投は、危険が伴うので、大変参考になり今後の検討の課題となりました。

(青木 実)

## 審判委員会

トラックシーズンも終わり、各競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。すでに、駅伝、マラソンなどのロードレースのシーズンに入りました。審判の方々には引き続きご協力をお願いします。

今年度はB級審判資格取得講習会を2回行ないました。合わせて40名の方が平成20年4月1日付けで新たに公認審判員の仲間入りをします。ご指導をよろしくお願いします。

平成20年度から全国大会が続きます。普段の競技会から全国大会を意識した審判業務を心がけるようお願いします。

各支部で2008年審判伝達講習会が3月15日(土)を皮切りに、3月21日(金)・22日(土)・23日(日)に行なわれます。ぜひ出席していただき、ルールの確認、各競技会での諸問題や運営方法等について理解を深め、協力体制を整えていきたいと思ひます。

最後に、毎回お願いをしています審判調査はがきを必ず出すように重ねてお願いします。

(榊原 茂)

## 選手強化委員会

愛知の場合、普及を含めた事業であることから陸上競技教室の開催は強化委員会主催行事です。

各地で開催される陸上競技教室はその後の選手育成に大きく寄与しています。他県では減少傾向が続く高体連登録や中学生の陸協登録数の増加は普及行事の成果と考えられます。

選手強化事業は強化指定選手の認定、強化合宿、練習会を開催しています。強化合宿、練習会は競技ブロック別に実施され、専門コーチによってきめ細かい指導がなされています。

国体出場を目指す選手は、これら強化事業に参加することが愛知代表選手として選考される前提条件となります。つまり強化指定を受けていながら強化事業に参加しない選手は、国体選手として選考の対象とならないこともありますので注意してください。

また、日本体育協会の公認コーチ資格取得のために毎年2名を推薦して派遣しています。

選手強化委員会の最大の目標は国体と都道府県駅伝で好成績を残すことです。普及から育成、強化で選出した選手が愛知代表として活躍できるよう、今後も鋭意努力を続けますので、皆様のご協力とご支援を今後ともよろしくお願ひします。

(北村 肇)

## 記録委員会

初冬を迎え、トラックシーズンから高校駅伝をスタートとして道路競技のシーズンに入りました。道路競技では、先の世界選手権大阪大会から自動応答計時システム(通称:チップ)による計時を、IAAFは8月25日からすべて公認と決定。日本陸連においても9月30日の臨時理事会において、10月1日より途中計時を含めすべて公認としました。

各支部記録委員長はじめ各委員のご尽力により、競技大会の日本陸連への公認申請を県内全ての競技会について済ませることができました。大会ごとに記録の整理をしていますが、今後は10傑表の作成、日本陸連監修の100傑表、陸上専門雑誌社等への記録の提供を含め、漏れのないよう最大限の注意を払って1月上旬までに10傑表の完成。再度チェックして印刷し、3月上旬に発行の予定です。

## 先回報告以後に樹立された新記録

## 愛知県新記録

女子棒高跳 4m10 前田 朋子 (中京大クラブ)  
 第4回桑名地区陸上競技記録会  
 東員町スポーツ公園陸上競技場 10月7日

## 愛知県タイ記録

男子棒高跳 5m40 有木 健人 (ハート&ハート)  
 第55回全日本実業団対抗選手権大会  
 岐阜県長良川陸上競技場 9月22日  
 (今年度、3度目の5m40)  
 (岡田 武彦)

## 女性委員会

## 第26回レディース陸上競技大会準備について

本大会の準備につきましては、愛知陸協主催大会・国体等で広報活動を行なってきました。開催を約1年後に控え、実行委員会を立ち上げ、第1回の会議を開催しました。実

行委員会は、國分一郎副会長兼理事長を大会実行委員長とし、総務・競技・審判・施設用器具・宿泊接伴・医事・記録報道・情報処理・財務会計の9委員会の構成です。今後は、各委員会で準備を行なっていきます。第1回の会議内容は下記のとおりです。

### 第26回レディース陸上競技大会第1回実行委員会報告 10月23日(火) 県教育会館

- 1 挨拶 愛知陸上競技協会
- 2 議題

#### (1) 協議事項

- ① 第26回レディース陸上競技大会要項について
  - ・陸連の指導で、開催日を11月3日(祝・月)に変更
  - ・参加者が多数になることも考慮し、会場を瑞穂・瑞穂北陸上競技場とする。
  - ・参加制限は、1人1種目(リレーは除く)。参加料は、1種目1,500円(リレーは1チーム2,000円)。
- ② 第26回レディース陸上競技大会愛知陸協実行委員会の委員及び業務内容について
  - ・委員会の構成については、宿泊接伴の中に含まれていた医事委員会を独立させる。(ドーピング検査に備えて)
- ③ 第26回レディース陸上競技大会の諸会議日程について
  - ・各委員会で業務内容にそったスケジュールを立てて

提出する。

- ④ 第25回レディース陸上競技大会(広島)の視察について
    - ・10月27日、28日に竹内副会長・外山副理事長・青木副理事長・榊原審判委員長・石鎚競技情報処理副委員長の5名で実施する。
  - ⑤ その他
- 3 挨拶 愛知陸上競技協会

## 関係団体報告

### 小学生友の会

- 1 “日清食品カップ”第9回全国小学生クロスカンントリーリレー研修大会の成績  
万博記念公園特設コース 平成19年3月25日(日)  
チームは、男子・女子各4人の8人編成。6人がリレー大会・2人が友好レースに出場。コースは、アップダウンの激しい1人1.5km周回コースを6周して競った。

田原陸上クラブ 第8位 9km 33分 41秒

第1区 杉原 梨華 区間 7位

第2区 山内 裕斗 区間 19位

第3区 松葉 彩 区間 5位

## クラブ紹介③ 豊橋陸上クラブ

### 「長く楽しく」

豊橋陸上クラブは昭和44年に小学生を対象に活動をスタートし、平成16年からは中学部が発足、今では所属人数400人を超える規模になりました。練習は豊橋市陸上競技場において土・日曜日を中心に活動し、水曜日には一部選手を対象にナイター練習を行なっています。高校中距離界で活躍する鈴木亜由子選手も当クラブの卒業生です。

私たち指導者は「長く楽しく陸上を続けてもらう」ことをモットーとして指導しております。これは、今いる小学生・中学生が高校生・大学生になっても陸上を好きで続けてもらいたいという願いによるものです。

クラブの特色は、年齢層が広く小学校1年生から中学校3年生までの子供がいることです。練習風景には「かけっこ」をする姿から円盤投や砲丸投をしている姿まで見られます。小学生と中学生が同じ練習をしたり、時には中学生が小学生を教えたりすることもあります。中学3年生までの長期にわたって活動できるため、指導者も長期的な視点に立つことができ、じっくり教えていけるところがクラブの良い点だと思っています。

練習内容はそれぞれの年齢に合わせ、遊びの要素を多く取り入れて、陸上の練習が楽しいと思えるよう工夫をしています。子供たちに好評な練習は変形ダッシュで、さまざまな姿勢からスタートし勝敗を競います。仰向けやうつ伏せの姿勢、中にはどうやって起きあがってよいかわからないような姿勢にするなど「構え方」を変えたり、またクイズ形式にして答えがわかった人からスタートするといった「ひらめき型」にすることもあります。変形ダッシュをするときの子供たちは、ドキドキしながらスタートを待ち、耳を澄まし、いつにも増して集中力が高まります。この練習の良いところは、通常の短距離走では勝てない子どもでも勝てるチャンスがあることです。小学生が中学生に勝つこともあり、子供たちは年齢に関係なく感情むき出して競っています。その他いす取りゲームのような練習や陣取りゲームのような練習も好評で、子供たちからリクエストがよくあります。

このように練習をする中、私たち指導者が気をつけていることがあります。それは子供たちに過度な練習をさせないことです。子供たちが試合で活躍したり、自己ベストを出したりすることは、私たち指導者にとって何よりも嬉しいことではありますが、つつい過度な練習をさせてしまうことがあります。特に小学校高学年から中学生にかけては、成長が著しい反面、けがをしやすい一面も持っています。成長期に膝や腰を傷め、その後痛みを抱えたまま競技を続ける高校生・大学生、または精神的に燃え尽きて陸上の世界を去ってしまう選手も少なくありません。私たちは子供たちを短期的に成長させるのではなく、将来高校生・大学生になった時に、活躍できるような「きっかけ」を提供し、体力や技術の基礎作りをしてクラブから送り出したいと思っています。そのために、今後も練習内容を工夫し、けがをしないように楽しみながら陸上を続けられる環境を作っていきたいと思っています。

(村松 宏記)



ナイター練習の後で

第4区 真田 龍一 区間 11位	17年大会第9位 18年大会第8位 19年大会第8位
第5区 立岩 奈実 区間 9位	
第6区 中川 滋貴 区間 9位	
友好レース女子 3位 西脇 紗英 男子 21位 伊藤 宏章	

※森下義郎監督談 「(昨年に続いて8位で) 念願の6位以内の入賞を逃したのは残念だが、この悪条件(前夜の雨で軟弱)の中で8位入賞を果たしたことはすばらしい。これをバネにして、今後もがんばろう。」

## 2 “日清食品カップ” 第23回全国小学生陸上競技交流大会の成績 平成19年7月28日(土) 大阪 長居陸上競技場

選手22人 総監督 山田 美智(JAC大府) 指導者・コーチ8人  
14種目中 8種目に入賞

5年男子 100m	7位 13.75	渡会 元貴(田原陸上クラブ)
6年女子 走幅跳	2位 4.74	石川可奈子(半田 Jr. TC)
女子 ソフトボール投	7位 56.43	竹内 由菜(なごや陸上クラブ)
男子 100m	6位 12.42	掛川 真(JAC大府)
男子 80mH	7位 12.62	三浦 成皓(JAC武豊)
男子 走高跳	1位 1.47	平林 卓磨(片葩 AC)
男子 走幅跳	5位 5.09	横地 秀春(千代田橋 AC)
男子 ソフトボール投	6位 72.85	澤田 拓人(豊川陸上教室)

県友の会新

## 3 東海小学生リレー競走大会の成績

平成19年9月9日(日) 三重県営総合競技場、陸上競技場  
混合4×100mR

1位 53.97	安城 JAC(勝田・河合・兼子・遠藤)	県友の会新
2位 56.32	田原陸上クラブ(真田・中尾・山田・渡会)	
6位 58.07	作野 AC(牧野・大谷・伊藤・中島)	

女子4×100mR

1位 53.76	安城 JAC(藤内・酒井・樋口・徳田)	大会新
3位 54.97	豊橋陸上クラブ(鈴木・飯田・加藤・田中)	
4位 55.01	JACとよあけ(浜島・成田・鷺見・成田)	

男子4×100mR

2位 52.20	安城 JAC(大久保・外山・後藤・神谷)
4位 53.08	片葩 AC(田代・平林・三好・斎藤)
5位 53.31	豊橋陸上クラブ(内藤・大野・木下・村松)

(大矢 新吾 村上 叡治)

## 中体連

### 平成19年度第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会 (H19.10.26~28)

平成19年度第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会は、短距離・走幅跳・1年生の活躍が目立った大会であった。

短距離陣では女子の1年~3年の100mでは全員が8位入賞を果たし、特に1年生の森佑紀那さん(長良中)は全中での活躍に続き、12.39で2位という活躍を見せた。リレーではその効果もあり2位に入ることができた。

男子でも1年生の鈴木祐太君(本郷中)が11.20の大会新記録で全国制覇をした。男子のリレーもそのパワーをもらい2年連続の入賞を果たすことができた。

1年生の活躍はこれだけではなく女子100mH谷優奈さん(保見中)5位入賞、女子走幅跳松原可依さん(知多中)全国優勝、男子100mH角田涼一君(豊正中)6位入賞と愛知県勢の1年生の活躍が目立った。

来年以降の全日本中学校陸上競技選手権大会やジュニアオリンピックでの活躍が期待される。

## 平成19年度第56回愛知県中学校駅伝大会

(H19.11.7 豊田市運動公園)

本大会は、女子12.05km5区間、男子18.05km6区間で行なわれた。

女子の部では3連覇を狙う沓掛中と平坂中、石巻中などの強豪校が最終区まで激しいデッドヒートを繰りひろげた。

息がつまるようなレース展開であったが、沓掛中アンカーの下村環加さんが格の違いを見せ、1分以上の大差で3連覇を果たした。

男子の部は前半守山中が第3走者までリードし、豊川東部中、沓掛中、前林中が追う展開であった。後半は第4走者で先頭にたった豊川東部中が逃げ、最終区で猛烈的な追い上げをみせた沓掛中を振り切って優勝を手にした。

今年度は男女とも近年まれに見るすばらしいレースが繰りひろげられた。

(秋田 明憲)

## 高体連

去る、10月27・28日の2日間、岐阜市の長良川陸上競技場において東海高校新人大会が行なわれました。県内入賞者は別表のとおりです。ここ最近の傾向ですが、男女ともトラック種目の活躍が目立ちます。この大会は、来年の東海高校総体の目安となる大会で、場所も同じ競技場で行なわれます。この中から、一人でも多くの選手が、来年7月29日から埼玉県熊谷市で行なわれる全国高校総体に出場できるよう期待しています。また、惜しくも入賞できなかった選手も、春に向けて冬季練習を頑張り、全国高校総体を目指していただきたいと思います。

11月4日には、知多運動公園陸上競技場を発着点として、県高校駅伝競走大会が開催されました。入賞校及びオーダーは別表のとおりです。男子優勝の豊川工業高校は見事に10年連続優勝を達成しました。また、女子優勝の豊川高校は県高校最高記録・大会新記録で見事初優勝を成し遂げました。この両校は、12月23日に京都で行なわれる全国高校駅伝競走大会に、愛知県代表として出場するが、どちらも上位入賞が十分可能なチームだと思います。ご健闘をお祈りします。



豊川工業高校優勝!



豊川高校優勝!

知多市で会場をお借りして県高校駅伝競走大会を開催するようになって、今年で28年になりました。この間、毎年お世話になっております、知多市・知多市教育委員会・知多警察署・知多三四会及び愛知陸協の江藤照雄氏にはこの紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

(大島 修)

## 学連

### 第35回 東海学生陸上競技秋季選手権大会報告

本大会のトラック&フィールド競技をもって最終となる秋季選手権が10月13~14日に無事に終了しました。この大会は台湾遠征の選考競技会となっており、各種目の優勝者を派遣することになっています。天候にも恵まれ、大会新は、男子では、10000m、やり投、女子では、5000m、5000m競歩、400mリレー、1600mリレー、ハンマー投の計7種目に見られ、多数の更新者が出ました。男子では、

1年生ながら大会新で優勝し新人賞を獲得した中田(三重中京大)、やり投で最終6投目に70mの大台を越える大会新で優勝した下り藤(中京大)のパフォーマンスが目を引きました。女子では名城大学の駅伝メンバーが元気のいいところを見せた女子5000mで西川、佐藤のユニバーコンビが素晴らしい最後のビルドアップをみせ7位までが従来の大会記録を更新したこと、両リレーで中京女子大がいずれも3年生以下のメンバーで制したこと、ハンマー投では全日本インカレの表彰台を独占した中京大の山城、武川、奥がその再現となる上位独占したことが特筆されます。その他、1年生の優勝が6種目で見られました。男子の中田、女子では800m小阪(高田短大)、1500m成瀬(愛教大)、走高跳内多愛子(中京大→新人賞)、棒高跳横井(中京大)、走幅跳田中(岐経大)で、今後の活躍が期待されます。結果の詳細は、東海学連 <http://gold.jaic.org/jaic/tgrr/index.htm> を参照ください。

閉会式後選手たちが集まり卒業していく学連員に対し、4年間の献身的な努力に対する感謝の花束を贈った。学連員らも、自己犠牲の部分もあったが頑張ってきた甲斐があったと感激し涙ぐんでいました。この素晴らしい光景に、選手たちも感動していました。

この大会が最終競技会になる選手もいました。心身を鍛える機会の少ない時代に人間形成の手段として陸上競技を選び、日夜精進を重ね競技生活を通じて身につけた忍耐と挑戦の精神は社会人としても大きく役立つことと確信します。

中・長距離選手は、駅伝・ロードレース大会がスタートしますが、それ以外の選手は来季に備え、冬季練習に入られることでしょう。

最後になりましたが、3回目の海外遠征が計画できるのも、元会長梅村清弘先生(現愛知陸協会長)の長年に渡る財政的な援助と先生の人脈の広さにおける陸上競技関係者のご支援の賜物と感謝いたしております。

(安藤 好郎)

## 実業団

今年度の実業団の主催大会も第47回実業団・学生対抗陸上競技大会(10月21日平塚)でトラックシーズンも無事終了。この大会でも110mHで久田尚弥選手(平野工業)が優勝。100mHの山崎由加里選手(同)、走高跳の真鍋周平選手(トヨタ自)が出場し活躍した。

この伝統ある実業団・学生対抗陸上競技大会は幾多の日

## 名岐駅伝いませかし③

### 大会を紀元節\*1(2月11日)に開催

昭和5年10月19日、14チーム参加のもとで始まった本大会は成功裏に終了したが、主催の新愛知新聞社は「我社は常に朗らかで頑健な実社会の第一線に立って活躍しつつある体格所有者の多くはスポーツマンである実状に着眼し、各種運動競技会を開催し斯界のため努力してきている。殊にスポーツの普及程度でその国家なり県なりの文化程度が判るとさえ言われる今日、…略…我が国マラソン界に身命賭して貢献し東奔西走常に席暖まるを識らずと言うも敢えて過言でない日比野マラソン王を有する中部日本マラソン競走は、一向代表的有名選手を輩出しないのは誠に遺憾の極みである。されば我社は…」(昭和7年1月14日)と第1回大会挙行の主旨を述べ、第2回大会を2月11日に行うための要項を掲載している。2/6には日比野寛審判長はじめ審判員、監察員、計時員、救護班、記録員等の氏名を掲載している。この中には愛知陸協第四代会長の江口鐘蔵はじめ昭和9年3月の愛知陸協創立時の役員らの名前が数多く見られる。さらに2/7には、参加申込みをした28のチーム名(青年団16、倶楽部5、学校4、会社・商店3)と参加選手の名前をフルネームで紹介している。

#### ○第2回大会—好記録続出—

2月11日\*2午前11時、愛知・岐阜・三重3県から参加した22チームの走者が新愛知新聞社前をスタート。2・3区(一宮—岐阜)は砂利道が多く選手はかなり苦しんだ。各区分間で順位がめまぐるしく変わるなど接戦が展開された。結果は、第1区からトップをキープした名古屋・東区連合青年(安井、梶浦、近藤、松永)が4時間42分40秒の大会記録でゴール。3位までが大会記録であった。また、区間記録も第3区を除いて更新された。以下、10位までの結果を記す(4位以下はチーム名のみ)。

②岐阜・根古地青年 A 4.42.5 ③名古屋育英商業 4.48.27 ④名古屋・春日井商店A ⑤日本毛織名古屋工場 ⑥岐阜鶴沼青年 ⑦愛知・新川青年 ⑧岐阜・海西村青年 ⑨岐阜・今尾青年 ⑩岐阜・本巣中学

#### ○第3回大会—「一般」(9)・「学生」(11)の二部制になる—

冷たい微風があるものの快晴で浅春の陽光が降り注ぐなか、11時日比野審判長の号砲で第一走者スタート。沿道の人垣の熱援を受けながら熾烈なレースが展開された。

一般では、終始トップをキープした名古屋東田青年倶楽部(金、吉田、林、小関)が、昨年の覇者東区連合青年の4区走者安井の追走(区間最高記録)を振り切って4時間45分40秒でゴール。学生では、一宮中継所で岐阜農林、育英商業に次いで3位で襷を受けた三重高等農林(小川、高津、刈谷、長谷川)が逆転し、4時間59分11秒でゴール。1位と最下位とは約73分の差があったが、落伍者もなく無事終了した。なお、マラソン王の日比野が一宮からゴールまで完走したが、これはかつて校長を務めた愛知一中の初参加(2チーム)や自ら創設した育英商業の健闘を鼓舞する意図があったかも知れない。

以下、2位以下の結果を記す(4位以下はチーム名のみ)。

一般の部：②東区連合青年 4.54.05 ③岐阜鶴沼青年 5.6.07 ④一宮第一青年 ⑤名日毛燃揚会 ⑥弥富五明青年 ⑦名古屋市東京モスリン ⑧名古屋日毛 ⑨名古屋マラソン連盟

学生の部：②岐阜農林 5.01.17 ③育英商業 5.03.41 ④岐阜 本巣 ⑤岐阜師範 ⑥岐阜第一工業 ⑦八高 ⑧愛知一中B組 ⑨名古屋商業 ⑩東邦商業 ⑪愛知一中A組

\*1 明治5年、神武天皇即位の日を設定して祝日としたもので、2月11日。第2次大戦後廃されたが、昭和41年「建国記念の日」という名で復活。

\*2 この日「新愛知」は号外を発行し、先年(6年9月)柳条溝の鉄道爆破事件を契機として起こった中国との武力衝突(「満州事変」)の戦況を報じている。

本稿執筆にあたり、名古屋市立鶴舞中央図書館のマイクロフィルムに収録されている「新愛知新聞」の記事を引用・参考した。

(西垣 完彦)

本記録が塗り替えられたり、名選手を数多く輩出してきました。しかし、最近では大会そのものの意義も含め様々な議論なされてきたのも事実です。

来年からは、この大会をGP大会に加味することも併せて権威ある大会にすべく方策を検討中です。

さて、11月に入り実業団主催の駅伝が開催された。中部連盟関係団体の結果は、以下の通りです。

①第17回淡路島女子駅伝競走大会(11月3日淡路島西海岸)  
 第2位 スズキ(静岡) 第6位 デンソー(三重)  
 第7位 ユタカ技研(静岡) 第13位 小島プレス(愛知)  
 この結果、以上の4チームは12月16日岐阜で開催される全日本実業団対抗女子駅伝大会への出場権を獲得した。特に地元の小島プレスには、声援を送りたい。

②第47回中部実業団対抗駅伝競走大会〔11月11日下呂〕  
 第1位 スズキ(静岡) 第2位 トヨタ紡織(愛知)  
 第3位 NTN(三重) 第4位 トヨタ自動車(愛知)  
 第5位 愛三工業(愛知) 第6位 愛知製鋼(愛知)  
 第7位 トーエネック(愛知)

以上の7チームが、来年1月1日に群馬で開催されるニューイヤースタートへの出場権を獲得した。特筆すべきは、外国人抜きで臨んだトーエネックが全国大会へ初の出場権を得たことです。

出場チームには、更なる頑張りを発揮していただき、次年度への出場枠拡大(中部連盟の全チームが30位以上でゴールすれば1枠増)を大いに期待します。(樋高 勇二)

### マスターズ陸上

心豊かな長寿社会の実現への貢献役

今年の全国スポレク祭「マスターズ陸上」は、9月23日から25日まで青森県総合運動公園陸上競技場で、各都道府県の代表818人が参加して開催されました。愛知県からは四戸光男監督(豊田市)のほか20人の選手が参加しました。結果は、10人が13種目で1位を獲得しました。特に、男子では渡辺実選手(一宮市)が100mと200m、山田博嗣選手(豊田市)が砲丸投とやり投、女子では加藤敦子選手(豊川市)が砲丸投と円盤投の2種目で1位となりました。また、女子200mでは、長尾典子選手(岡崎市)が愛知県記録を更新して1位となりました。例年活躍しているリレーは、男子は50歳代、55歳代の短距離選手がいない(選考会にも参加者がいなかった)ため10位でしたが、女子は3位と健闘しました。

マスターズ陸上の最大の大会、第28回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が、10月26日から28日まで山口県下関市宮陸上競技場で開催されました。30歳から101歳の、47都道府県の選手のほか台湾、香港、アメリカからの海外選手25人を含め、総勢1,267人が参加し、愛知県からは男女合わせて45人が参加しました。結果は、15種目で1位を獲得し、6つの県記録が出ました。リレーで女子は1位となりましたが、男子はメンバーが組めず不参加となりました。

## 《秋田わか杉国体》参戦記

少年男子 B 200m 優勝 中京大中京高1年 三輪 将之

僕は、去年まで全日中は準決どまりといったごく平凡な選手で、国体なんて出場できれば十分とくらいにしか考えていませんでした。しかし、国体では、優勝することができました。

高校に入って間もなく、自分でも驚くくらいの成長があり、今年はとても充実したシーズンでした。国体はその集大成として優勝したいと思っていたので、本当に嬉しかったです。

国体を選んでいただき、ありがとうございました。



少年女子 B 800m 2位 時習館高1年 鈴木亜由子

国体は、他では味わえない感動を味わったり、貴重な体験を与えてくれます。

昨年初めて出場した時、日本の一流選手と間近に接することができて、とても興奮したのを覚えています。また愛知県選手団の一員として、素晴らしい先輩方や仲間達と過ごす一週間は、有意義で勉強になりました。

今年秋田で行なわれた「わか杉国体」では、2連覇を目指しましたが、最後にかわされて2位に終わり、とても悔しい思いをしました。来年はリベンジを果たしたいので、また選ばれるように日々の練習を頑張りたいと思います。



少年男子 B 円盤投 7位 名古屋高1年 杵本 皓貴

僕は、愛知県選手団のトップバッターで、とても緊張していました。それに、国体出場が決まってからは、調子がなかなか出ず、不安も高まってきました。しかし、コーチの先生、友達、家族の支えや応援があり、不安も少しずつなくなり、試合前日の練習では、今まで投げたことのないくらい飛んでびっくりしました。そして本番でも、自分の投げがしっかりでき、自己新で7位入賞することができました。今回この国体出場は、とてもいい経験になりました。この経験をいかし、来年、再来年のインターハイで活躍できるように頑張っていきたいです。



少年女子 B 3000m 競歩 6位 岡崎商高1年 前川 知美

今回秋田国体に出場させていただいたこと、本当に嬉しく思っています。私が県代表で選考していただいたタイムは、ランキングで12名中、12位でした。大きな大会での経験も無く、全てが初めてのことでとても緊張していましたが、6位に入賞することができました。私がこうして良い結果を残せたのは、スタッフの先生方のサポートや、斉藤コーチの指導のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

今回の大会での経験を生かし、これからも毎日全力で頑張っていきたいです。





2年後の2009年には、第30回大会が愛知県で開催されます。その準備状況を報告させていただきます。

8月10日の愛知陸協理事会で主管の承認をいただきましたので、愛知マスターズ連盟としては、事務局の事務所探しを始め、大会要項、競技日程などの素案のまとめをしました。愛知陸協には、開催の準備や大会の運営に万全を期すため、山口大会の10月27日、28日の2日間、岡田記録委員長、小森審判副委員長、安田競技情報処理副委員長、石田女性副委員長の4名の方に視察をしていただきました。また、開催日程や競技日程、競技役員・補助員の体制など大会開催に向けての重要案件については、愛知マスターズ連盟の作成した素案を愛知陸協に提出し、検討をお願いしています。今後、愛知陸協の検討結果をいただき、今年度中には、大会の大枠を固めたいと考えています。

事務局の事務所については、この大会に協賛していただける企業がありましたので、詰めの協議をしているところです。大会開催に向けて、愛知陸協の役員を始め会員の皆さまのご指導とご協力をお願いします。(佐野 昭二)

### 愛知陸協OB会

“OB会 初秋の青木湖へ”

愛知陸協梅村清弘会長のご好意で、中京大学青木湖セミナーハウス「レイクビュー白馬」へ9月27日から28日まで29名の参加を得て1泊2日の旅に出かけました。

予定より早く全員が集合。早々に名古屋駅西口を出発し、中央道諏訪インターで一般道へ。近くのおぎのや諏訪インター店で昼食をとった後、長野自動車道で松本へ。

国宝松本城を見学し、宿泊地の「レイクビュー白馬」に到着。豊かな大自然に囲まれた立派な施設に一同感激。ゆっくり入浴し、楽しみの懇親会がスタート。世話人の伊藤紀久夫さんのアコーディ



松本城をバックにパチリ!

オンの伴奏で、この日のために用意された歌集を手になつかしい歌の数々を全員大合唱。

梅村会長からの差し入れの飲みものもまたたく間になくなり、大いに盛りあがりました。

翌朝は、長野オリンピック白馬のジャンプ競技場へ。スタート台へあがってみると足がふるえる程の高さだ。

その後、大王わさび農園で観光。そして昼食をとり、休憩をはさみながら一路名古屋へ。

色々な思い出とともに解散しました。(村瀬雄一郎)

## 競技会報告

### 第21回愛知県小学生陸上競技選手権大会 平成19年11月3日(土) 瑞穂公園陸上競技場

少年 PR: 県記録 GR: 大会記録

種目	1位	2位	3位
少年4年50m	石田 雄真 7.55 JAC武豊	森下 翔太 7.65 新城陸上教室	井田 光紀 7.72 なごや陸上クラブ
少年5年100m	遠藤 侑汰 13.37 安城陸上教室	渡会 元貴 13.61 田原陸上クラブ	秋江 洋志 13.70 JAC一宮
少年6年100m	神谷 祐杜 12.87 安城北部AC	田代 紘基 13.12 片葩AC	近藤 佑哉 13.16 JAC大府

少年5年80mH	磯部 厚志 15.12 安城北部AC	近藤 啓彬 15.85 福岡AC	小林 大悟 15.89 豊橋陸上クラブ
少年6年80mH	三浦 成皓 12.72 JAC武豊	古元 翼 13.12 三好AC	内藤 祐輝 13.40 豊橋陸上クラブ
少年4×100mR	JAC大府 52.55 道脇 史斗 近藤 佑哉 近藤 晃 掛川 真	片葩ACA 52.76 田代 紘基 平林 卓磨 河邊 健汰 齋藤 健太	なごや陸上クラブA 53.57 堀端 潤一 岩倉 光平 小野崎 亮 福嶋 良成
混合5年4×100mR	安城陸上教室 55.04 勝田 萌 河合 詩菜 丸山 侑輝 遠藤 侑汰	田原陸上クラブA 56.59 真田 純奈 中尾真理子 河邊 健汰 渡会 元貴	安城作野AC-A 57.56 鳥居 瑞穂 大谷 莉穂 伊藤 拓真 中島 豪
少年5年走高跳	近藤 雅哉 1.35 岡崎JAC	岡田 徹也 1.30 安城西部AC	倉橋 勇士 1.20 梨の里
少年6年走高跳	平野 拓真 1.45 錦町クラブ	岡田 充弘 1.40 錦町クラブ	手嶋 真吾 1.35 岡崎JAC
少年4年走幅跳	岩崎 悠利 4.10 へきなん陸上	石川 拓磨 3.88 JAC武豊	畠山 昂大 3.80 田原陸上クラブ
少年5年走幅跳	渡辺圭一郎 4.51 なごや陸上クラブ	鳥居 凌大 4.45 岡崎JAC	光武 悠吾 4.34 JAC大府
少年6年走幅跳	横地 秀春 5.11 千代田橋AC	桜本 雄己 4.63 JACちた	小川 巧 4.61 JACあつみ
少年5年ソフトボール投	荻野 佑 55.47 新田TFC	宮脇 良太 54.46 安城桜町ク	辻村 篤也 53.62 岡崎JAC
少年6年ソフトボール投	磯村 聡 62.94 明和JAC	田上 翔斗 59.45 二本木AC	加藤 魁斗 58.97 安城桜町ク
少年二種競技A	平林 卓磨 1482 片葩AC PR	鈴木 淳生 1374 田原陸上クラブ	坂本 翔太 1263 安城北部AC
少年二種競技B	掛川 真 1908 JAC大府 PR	川口歩実弥 1367 岡崎JAC	小野崎 亮 1247 なごや陸上クラブ

少女 PR: 県記録 GR: 大会記録

種目	1位	2位	3位
少女4年50m	武山さくら 7.83 岡崎JAC	杉浦 七海 7.85 里町AC	北野喜里帆 7.97 十四山体育ク
少女5年100m	稲葉 水保 13.87 小牧ジュニア	鷺見 梓沙 14.03 JACとよあけ	石原 果奈 14.23 成岩SC陸上
少女6年100m	北野 有紀 13.19 十四山体育ク GR	杉山 美貴 13.66 岡崎JAC	酒井 美緒 13.86 安城北部AC
少女5年80mH	加藤 遥 14.73 新城陸上教室	岩川 沙紀 14.97 田原陸上クラブ	増田 麻妃 14.98 成岩SC陸上
少女6年80mH	佐藤 伴美 13.57 なごや陸上クラブ	武田 真歩 13.65 田原陸上クラブ	和田 侑子 13.85 豊橋陸上クラブ
少女4×100mR	JACとよあけA 54.44 鷺見 梓沙 成田 真彩 浜島 利江 成田 美玖	豊橋陸上クラブA 55.10 田中優梨亜 加藤 凜 鈴木 香織 河合 真由	十四山体育ク 55.21 田畑江吏加 柴田 香穂 富田 琉璃 北野 有紀
混合4年4×100mR	田原陸上クラブA 59.95 牧野 佳依 河合 志歩 木村 仁士 武田 真人	安城作野AC-A 61.03 山田 茜 吉野 結香 菊川 樹 山手 陸	とよたAC 61.03 大山 稜華 椎葉 優 菅 舞人 安田 駿
少女5年走高跳	太田 早紀 1.27 錦町クラブ	城越 美那 1.20 JAC大府	天木 麻衣 1.15 作野AC
少女6年走高跳	落合里沙子 1.35 岡崎JAC	牧村 奈美 1.30 新田TFC	榊原 志帆 1.25 半田 Jr. TC
少女4年走幅跳	鈴木 千陽 3.91 新城陸上教室	杉本 実優 3.40 なごや陸上クラブ	柴田 萌 3.38 田原陸上クラブ
少女5年走幅跳	山下 瑞季 4.26 YOUKI陸上クラブ	橋詰 奈々 4.06 千代田橋AC	石川あおい 4.03 へきなん陸上
少女6年走幅跳	神谷 美和 4.27 錦町クラブ	森 雅亜砂 4.27 千代田橋AC	近藤 千風 4.25 田原陸上クラブ
少女5年ソフトボール投	黒木 弘美 41.18 安城桜町ク	大参 花葉 41.11 安城中部クラブ	増田ひとみ 37.52 二本木AC
少女6年ソフトボール投	松本 朱以 53.71 安城桜町ク	竹内 由葉 52.58 なごや陸上クラブ	岡 千波 50.05 JACちた
少女二種競技A	清島 晴香 1614 なごや陸上クラブ	安藤 成美 1582 作野AC	中山 怜佳 1538 上郷JAC
少女二種競技B	石川加奈子 1898 半田 Jr. TC PR	深谷 亜以 1642 JAC大府	成田 真彩 1634 JACとよあけ

平成19年度愛知県高等学校駅伝競走大会

平成19年11月4日(日) 知多運動公園陸上競技場一市道北浜金沢線 (男子 42.195km・女子 21.0975km)

男子

順位	タイム	学校名	1区 10km	2区 3km	3区 8.1075km	4区 8.0875km	5区 3km	6区 5km	7区 5km
1	2.08.01	豊川工	三田 裕介 30.02 (1)区間新	鶴田 雅哉 8.56 (2)	早川 智浩 24.40 (2)	長坂 公靖 25.20 (1)	正木 翔 8.48 (1)	小嶋 裕貴 15.00 (1)	水野 眞治 15.15 (2)
2	2.11.04	豊川	田中 秀幸 30.59 (2)	才田 玄 9.02 (4)	Macharia Joseph 24.13 (1)区間新	白井 智 26.11 (4)	松井 秀展 8.56 (3)	守田 収一 15.44 (3)	長坂 雄基 15.59 (3)
3	2.13.03	岡崎城西	藤井 堯 31.38 (3)	島田 彰人 8.37 (1)	加藤 圭 25.52 (4)	大原 司 25.48 (2)	岩田 将好 9.00 (4)	小澤 雅彦 15.56 (4)	山本 起大 16.12 (6)
4	2.13.53	愛知	城地 一志 31.43 (4)	眞野 貴之 8.57 (3)	中島 拓海 25.49 (3)	近藤 尚紀 26.12 (5)	山田修一朗 8.54 (2)	漆崎 聖也 16.09 (5)	鈴置 貴大 16.09 (5)
5	2.15.28	愛工大名電	粟津 良介 32.44 (13)	渡邊 翔太 9.08 (5)	立川 一磨 25.52 (4)	岩山 敬明 26.30 (6)	松下 智之 9.02 (5)	近藤 駿一 15.35 (2)	成田 晃浩 16.37 (12)
6	2.16.25	中部大第一	松本 勇樹 31.47 (5)	杉田 祐平 9.12 (6)	横田 成哉 26.54 (11)	中川 尊 26.42 (7)	近藤 真吾 9.14 (6)	中島 康平 16.12 (6)	河原 研人 16.24 (9)

女子

順位	タイム	学校名	1区 6km	2区 4.0975km	3区 3km	4区 3km	5区 5km
1	1.09.03 県高校新	豊川	二宮悠希乃 19.35 (1)区間新	加藤 麻美 13.27 (1)区間新	伊澤菜々花 9.49 (1)	小柳津早紀 10.19 (1)	Waithera G Wairimu 15.53 (1)区間新
2	1.12.00	中京大中京	花岡 紗耶 20.37 (6)	稲垣 冨佳 13.47 (2)	伊藤 麻央 10.00 (2)	長田 彩果 10.20 (2)	石原 芽 17.16 (2)
3	1.12.56	豊川工	奥田和佳奈 20.09 (3)	馬場 麻美子 14.02 (3)	山本亜莉沙 10.04 (3)	佐々木玲奈 10.43 (4)	渡邊 恵 17.58 (4)
4	1.13.12	惟信	安井絵理奈 20.05 (2)	小島 美穂 14.08 (5)	山田 歩美 10.12 (4)	山田ありさ 11.06 (8)	八田 祥江 17.41 (3)
5	1.14.25	光ヶ丘女子	武田知江美 20.31 (5)	大城 響子 14.07 (4)	上村 早紀 10.51 (8)	山崎 香奈 10.45 (6)	戸軽 みづ希 18.11 (5)
6	1.16.02	愛知淑徳	中條 宏美 20.18 (4)	山田 恵里 14.53 (7)	秋田千佳子 11.20 (12)	掛布 里美 10.43 (4)	小木曾 史 18.48 (9)

優勝した豊川工業高校(男子)と豊川高校(女子)は、12月23日(日)京都で行なわれた全国高校駅伝競走大会に出場しました。また、男女とも1~6位の学校は、11月25日(日)静岡県御前崎市で行なわれた東海高校駅伝に出場しました。

平成19年度東海高校新人入賞者一覧  
平成19年10月27日(土)~28日(日)  
岐阜メモリアルセンター長良川競技場

[男子]

種目	順位	記録	氏名	校名
100m	1	10.66	三輪 将之	中京大中京
	4	10.99	中川 恵輔	明和
	5	11.05	鈴木 大介	名古屋大谷
	6	11.09	安井 一樹	豊田大谷
200m	2	21.63	鈴木 大介	名古屋大谷
	4	21.93	屋貝 拓郎	岡崎城西
	6	22.07	山口 明宏	熱田
400m	1	48.57	屋貝 博文	中京大中京
	2	49.00	牧野 武	時習館
	6	50.17	山内 博貴	中京大中京
	8	51.13	松永 旭央	津島北
800m	5	1.59.09	中村 圭佑	瑞陵
	8	1.59.50	長谷 翼	岡崎西
1500m	2	4.02.39	高瀬 昌俊	渥美農
	7	4.05.23	渡辺 章太	明和
5000m	1	15.04.99	島田 彰人	岡崎城西
	2	15.10.30	市川宗一朗	岡崎
110mH	3	15.02	波多野良平	豊川
	4	15.03	横山 享大	豊橋工
	6	15.05	嘉和知 諒	津島北
	7	15.14	佐藤 嘉高	松蔭
	8	15.36	牛田 朋宏	名古屋
400mH	1	52.80	山内 博貴	中京大中京
	2	53.62	中嶋 一成	時習館
	3	54.75	嘉和知 諒	津島北
3000mSC	1	9.25.26	今枝 浩二	至学館
	3	9.43.85	古田 充紀	豊橋工
	4	9.45.77	内田 貴博	新城東

3000mSC	5	9.46.27	勝又 敬央	豊川
	6	9.49.69	緒方 康介	愛知
5000mW	3	22.28.91	山口 幸大	惟信
4×100mR	1	41.44	三輪・屋貝・成瀬・山崎	中京大中京
	3	42.37	中村・屋貝・藤田・鈴木	岡崎城西
	6	42.53	豊田・亀氏・福岡・中川	明和
4×400mR	1	3.18.59	三輪・屋貝・外尾・山内	中京大中京
	4	3.23.07	八木・鈴木・大林・平野	一宮西
	5	3.23.54	三浦・田下・牛田・鈴木	名古屋
走高跳	6	3.23.75	柳平・鈴木・小西・後藤	名古屋大谷
	2	1.99	中村 明彦	岡崎城西
	4	1.93	萩原 慎也	名城大附
走幅跳	5	1.93	吉田 直城	横須賀
	6	1.90	小澤 晃大	名城大附
三段跳	6	6.70	鈴木 雄貴	中京大中京
砲丸投	1	14.56	鈴木 雄貴	中京大中京
円盤投	7	13.64	杉本 皓貴	名古屋
ハンマー投	4	41.07	墨 浩輔	名古屋
	1	52.89	津田 直紀	名古屋
やり投	7	44.55	水振 文太	名古屋
	2	58.56	榊原 寛紀	名城大附

[女子]

種目	順位	記録	氏名	校名
100m	2	12.29	市川 華菜	岡崎城西
100m	6	12.58	神谷 友貴	名古屋西
200m	4	25.38	市川 華菜	岡崎城西

秋田わか杉国体報告

男女総合(天皇杯) 14位 71.9点 女子総合(皇后杯) 24位 30点

種別	種目	順位	記録	氏名	所属
成年男子	110mH	優勝	13.68	内藤 真人	ミズノ
	10000mW	7位	42.30.22	杉本 明洋	ALSOK総合警備保障
成年女子	棒高跳	3位	5.35	有木 健人	ハート&ハート
	100mH	4位	14.17	山崎由加里	さかえクリニック T.C.
少年男子A	走幅跳	3位	6.00	中田 有紀	日本保育サービス
	800m	優勝	1.51.85	粟津 良介	愛工大名電高
少年男子B	200m	優勝	21.71	三輪 将之	中京大中京高
	110mH	8位	15.45	小久保翔太	成章高
少年女子B	円盤投	7位	43.60	杵本 皓貴	名古屋高
	800m	2位	2.13.15	鈴木亜由子	時習館高
成年少年男子共通	3000mW	6位	14.49.39	前川 知美	岡崎商高
	4×100mリレー	2位	40.78	田中 星次 石黒 遼人 鈴木 大介 三輪 将之	トヨタ自動車 中京大クラブ 名古屋大谷高 中京大中京高

いた競歩の前川選手などが愛知の底力を見せてくれました。しかし、「自己ベストがでたら」「調子が上がったら」「インターハイの時の力が出せたら」と期待を込めて選考した“タラ選手”が主力であったことは、否めない事実です。これら不確定要素の強い“タラ”選手に対して担当コーチは全力で指導に当たりました。スタッフのチーム力は、大会4日目の豪雨の時にいかに発揮されました。この時の感想を内藤選手は自身のブログで発表しています。

高校時代まで育ててくれた『愛知県代表』として臨んだ国体は、いつもの試合と一味違います。チーム丸となって、完全体制でサポートして頂きました…例えば、雨が強かったのでサブトラックまで車で輸送する徹底っぷり！  
 いろいろな工夫の積み重ねが、0.01秒に跳ね返ってくるのかもですね☆  
 陸上競技はルールに則ったなかで、やれる事をやっていかなければ勝負できないと改めて感じさせられました

秋田国体最終日、男子4×100mリレーが第2位に入賞して5日間の幕を閉じました。「最後のリレーで優勝すれば全体が勝った雰囲気になる。「勝ちに行け」と選手に激を飛ばして決勝の舞台に送り出しました。100mは陸上競技の原点であり、4継はその県の競技力、県の強化力を示す競技です。主役のいない県のテントはすでに幕が閉じられて閑散としている中、チーム愛知は今年も最後まで戦い、力を示してくれました。

世界選手権代表3名を擁する本県の国体選手団は、入賞可能性のある選手を選考して編成しています。優勝した内藤、粟津、三輪選手は他を圧倒した強さを見せました。池田選手を脅かした中田選手の跳躍やトップバッターで出場し入賞を果たした少年B円盤投げの杵本選手。自己ベストを大幅に更新して斉藤コーチの宣言通り見事な入賞に輝

結果(表は入賞者のみ)は表の通りです。自己ベストを更新できた選手が僅か2名でした。これでは、期待した結果は望めません。選考基準の見直しを含めて今後は国体にピークを合わせ、確実に力を発揮できるような選手を選抜する必要性を感じます。

大会期間中応援団長的存在であった國分理事長、世界選手権の経験を生かしてくれたトレーナーの皆さん、激励に駆けつけてくださった愛知陸協の皆様、支援コーチの先生方、大会直前の故障で交代をお願いした所属団体の監督・コーチの皆様には厚く御礼申し上げます。(北村 肇)

200m	6	25.74	水口 小夜	愛知淑徳
400m	4	58.25	小林 愛実	愛知淑徳
	8	59.96	濱崎 真帆	至学館
800m	1	2.14.52	吉川 侑美	桜花学園
	6	2.19.95	山田 栞	瑞 陵
1500m	6	4.45.15	山田 歩美	惟 信
3000m	3	10.04.28	小島 美穂	惟 信
	6	10.18.67	松本 千景	刈 谷
	7	10.22.87	大塚友加里	豊田大谷
100m H	3	14.77	牛田 光香	愛工大名電
	4	14.78	蜂矢 志穂	一宮西
400m H	1	61.90	近藤 友美	中京大中京
	5	64.49	西尾真梨子	中京大中京
	6	65.28	黒田 紗希	一宮西
3000m W	6	65.28	小林 純奈	春日井南
	2	14.32.27	前川 知美	岡崎商
	4	14.41.99	大津 苑美	一宮西
	5	14.49.31	森 美咲希	千 種
	6	14.56.39	光田 理子	津島北
4×100m R	8	15.20.41	清水 綾	至学館
	3	48.15	尾野藤・越・後藤・市川	岡崎城西
	4	48.23	竹下・水口・福島・小林	愛知淑徳
4×400m R	8	49.63	近藤・小椋・杉江・飯田	中京大中京
	2	3.54.32	福島・水口・竹下・小林	愛知淑徳
4×400m R	4	3.55.61	高澤・太田・國井・安保	瑞 陵

4×400m R	6	3.59.49	杉江・西尾・小椋・川瀬	中京大中京
走高跳	1	1.64	浅井 奈央	岡崎城西
	3	1.61	川澄 真子	岡崎城西
	4	1.58	中嶋 文望	岡崎城西
	6	1.55	若山 紗季	一宮西
走幅跳	3	5.25	坂木菜々実	愛工大名電
	8	5.12	近藤 美希	三 好
砲丸投	2	12.49	加藤 博子	豊川工
	4	11.78	伊藤亜優美	惟 信
円盤投	4	35.59	高木 美波	光ヶ丘女子
	5	34.24	加藤 博子	豊川工
	6	34.10	佐藤 絢香	津島北
やり投	1	44.88	國仲美沙紀	至学館
	2	40.21	萩原 麻子	豊田大谷
	3	38.92	浅井夕紀子	岡崎商
	7	35.40	夏目 陽子	刈谷北

第20回全国スポーツ・レクリエーション祭  
 愛知県代表選手成績結果(1位のみ)  
 平成19年9月22日~25日 青森県総合運動公園陸上競技場 監督 四戸 光男

氏名	住所地	年齢クラス	出場種目	記録
山田 博嗣	豊田市	M65	砲丸投(5kg)	11.74
			やり投(600g)	35.51
小山 真一	尾張旭市	M65	800m	2.32.87
佐野 昭二	高浜市	M60	1500m	5.04.31
竹之内敦史	春日井市	M45	走幅跳	5.58
畠中 一起	豊川市	M45	200m	23.96

加藤 智久	岡崎市	M40	三段跳	12.55
渡辺 実	一宮市	M40	100m 200m	12.27 24.43
加藤 敦子	豊川市	W60	円盤投 (1kg) 砲丸投 (3kg)	26.49 9.48
長尾 典子	岡崎市	W50	200m	31.47
津坂由希子	稲沢市	W35	走幅跳	4.01

**2007年 名古屋ハーフマラソン**  
平成19年11月23日 (祝・金)  
瑞穂公園陸上競技場付属ハーフマラソンコース

成績 (4位以下は本県分で順位・氏名のみ 26位以下省略)  
男子の部

- 1 ワンジュキ・ジャコブ 愛知製鋼 1.02.33
- 2 山本 亮 佐川急便 1.02.51
- 3 梅木 蔵雄 中国電力 1.03.09
- 4 大関 喜幸 5 風見 尚 6 浅羽 慶彦
- 9 糟谷 悟 11 土田 豊和 13 田口 裕弥
- 14 川口 将宏 15 佐藤 彰浩 16 角田 達彦
- 18 榊原 聡 19 村野 真一 20 南谷 壘
- 22 三嶋 淳司 23 石川 友靖 24 畔柳 拓也

女子の部

- 1 高仲未来恵 セガサミー 1.13.06
- 2 重田 明穂 旭化成 1.15.48
- 3 加納佐知子 関体協 1.20.03
- 5 齋藤 恭子 6 檜尾 園子 9 林 麻美
- 12 大杉絵梨佳 13 片岡 昌子 14 伊地知祐未
- 15 西山奈津子 16 長谷川真由美 17 荒井 理恵
- 18 山上登茂美 20 米谷 悦子 21 西川佳那子
- 23 松谷 恵子

**第38回ジュニアオリンピック**  
2007年10月26日 (金) ~ 28日 (日) 日産スタジアム

男子

- B 走幅跳 ⑤青木 貴司 (富貴) 6.17
- C 100m ①鈴木 祐太 (本郷) 11.20
- 100mH ⑥角田 涼一 (豊正) 15.06
- A B C 共通
- 4×100mR ⑥愛知 (鈴木祐太・山口和也・笹田康弘・大野将士) 43.38

女子

- A 100m ⑦船坂 実来 (北陵) 13.29
- B 100m ⑤山田 恵里 (長良) 12.98
- ⑧家田 知佳 (東浦西部) 13.26
- C 100m ②森 佑紀那 (長良) 12.39
- 100mH ⑤谷 優奈 (保見) 15.56
- 走幅跳 ①松原 可依 (知多) 5.28
- A B C 女子共通 4×100mR
- ②愛知 (森佑紀那・船坂実来・山田恵里・家田知佳) 47.94

**第91回日本選手権リレー**

2007年10月26日 (金) ~ 28日 (日) 日産スタジアム

- 女子4×100mR ⑤中京女大 (仲田千秋 (長野)・門奈美和 (愛知)・尾関朝美 (愛知)・渡邊有紀子 (愛知)) 46.97

**第28回全日本マスターズ陸上競技選手権**  
山口大会愛知県選手成績 (1位のみ)  
平成19年9月26日~28日 下関市営陸上競技場

氏名	クラス	種目	記録
四戸 光男	M60	400m	1.04.84
小山 真一	M65	800m	2.27.71 (県記録)
山田 博嗣	M65	砲丸投 (5kg) ハンマー投 (5kg)	11.68 44.59
家田 馨子	W40	三段跳	9.63
山田 美智	W45	ハンマー投 (4kg) やり投 (600g)	27.02 27.25
碓井由紀子	W45	200m 400m	28.26 1.03.53
中山 淳子	W45	3000m	10.50.01 (県記録)
加藤 敦子	W60	円盤投 (1kg) ハンマー投 (3kg) 砲丸投 (3kg)	25.04 30.14 (大会記録・県記録) 9.87 (県記録)
女子4×100mR 共通			57.35

**栄章**

おめでとうございます

日本陸上競技連盟より、第62回国民体育大会秋田わか杉国体 (10月5日~9日秋田) と第23回日本ジュニア・第1回日本ユース陸上競技選手権大会 (10月19日~21日大分) の会場において、下記の皆さんの授与式が行なわれました。(敬称略)

特別賞 室伏 広治 室伏 重信  
(大阪世界陸上入賞選手及び指導者)

秩父宮章 稲垣 裕  
平沼亮三章 藤原 照明  
河野謙三章 土井 香代  
河野一郎章 鈴木亜由子

以上 秋田県立中央公園  
県営陸上競技場にて 藤原 照明  
春日弘章 勝俣 章博 土井 香代  
大分スポーツ公園  
九州石油ドームにて



(稲垣 裕)

**お く や み**

長年、本県の陸上競技発展のため多大のご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名  
加藤 捷博 19・10 東三河

**編 集 後 記**

◆第2回愛知駅伝は、昨年以上の活気で、盛会裏に終了。すばらしい大会となった。各市町村の積極的な取り組みに感謝したい。◆秋田わか杉国体は、不本意な結果に終わってしまったが、各選手の頑張り、監督・コーチ・トレーナーの皆さんの見事な連携プレーとサポートに大きな拍手を送りたい。◆支部報告は、初めて「わが支部自慢」を取り上げた。「秋田わか杉国体参戦記」と共にかがでたか。◆行く年来る年、寒さきびしい折、お体をご自愛ください。

**編 集 委 員**

- 占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 外山 修
- 中尾 洋一 新美 準人 西垣 完彦 野口 一昭
- 山本 三郎